

2. 書の文化の伝承

◎第7回大仏書道大会「書くことは楽しい in 奈良」を開催

実施日 平成28年10月22日（土）～23日（日）

会場 東大寺大仏殿西回廊

10月22日（土）から23日（日）にかけて「大仏書道大会」の書道展を開催し、23日（日）は表彰式・席書会・大仏さまへの作品奉納を行いました。書の可能性を感じさせるような作品、単なる教科書的な技術だけではなく、自由な感性、創造性や味わい深さなども加味し光をあてる稀有な大会として、全国から応募をいただいています。筆や墨の伝統的な生産地である奈良での開催は、特に意義あるものではないでしょうか。平城遷都1300年を記念して始まり、第7回目を終えました。



審査風景（奈良交通本社6階会議室にて）

北海道から九州まで、68の高校・大学・個人から1333点の応募がありました。千数百点の安定した応募が毎回あり、学生書道界にも定着してきました。森本公誠・東大寺長老（当フォーラム理事・特別顧問）を審査委員長に迎え、奈良県教育委員会の書道担当職員、高校や大学の書道教員に今回も審査に携わっていただき、7点の特別賞と93点の入賞作品を選定しました。また、今回から新たに団体賞を設け、

奈良県立橿原高等学校、奈良県立大宇陀高等学校、大阪学芸高等学校（大阪市）の3校が奨励賞を受賞しました。

あわせて100点の作品を、秋空の柔らかな日差しのもと展示しました。芳名録によると地元奈良はもちろんのこと、全国各地・海外からの多数の参拝客・観光客にも立ち寄って楽しんでいただき、約1300名の来場を得ました。2日目は席書会として、作品応募した高校生・大学生約30名が華嚴唯心偈（百字心経）の写経、自由な作品創作をし、大仏さまの台座へ上がって作品を奉納しました。奈良時代の造立当時から残る大仏さまの蓮弁などを間近で見ながら、刻まれた文字や絵にどのような願いが込められていたのか、狭川光俊・大仏殿副院長より解説していただく貴重な機会となりました。

特別賞7点

東大寺賞「水」

清水高校（北海道上川郡清水町）安井穂乃果さん

生活に欠かせない大切な水ですが、時に表情を変えてしまうものでもあります。強烈な縦線と飛び散る飛沫により表現された荒々しい水、そのなかにある祈り（台風による水害に関する作者説明）に思いを馳せ、選定しました。



奈良県知事賞「三毒」

東大寺学園高校（奈良県奈良市）能口昌己さん

選句が知性的で、その構成は斬新です。朱墨の墨色、印泥の赤っぽい色合い、漢語にパーリ語を取り入れるなど細部に作者のこだわりを感じます。三毒の大きな二文字は不思議な書体となっていますが、書は「枝」より「知・情・意」が大切だと教えてくれる作品です。



奈良県教育長賞「下を向いていたら虹を見つけることはできない」

山の手養護学校（北海道札幌市）伊藤七海さん

作者説明に両下肢麻痺とありましたが、身体がままならない作者からの明るいメッセージです。絵のような虹は甲骨文字です。この虹も効果的で、その周りに言葉が自然に収まりました。希望を感じ勇気を与えられる作品です。



奈良市長賞「思い出は変わらずに」

今宮高校（大阪府大阪市）松村夏輝さん

赤々と紅葉した樹木が紙面いっぱいに描かれ鮮やかです。その向こうの建物はどこの景色でしょうか。人々の思い出の風景を象徴しているかのようです。大胆な構図に短い語句でまとまっています。



奈良市教育長賞「貫」

糸島高校（福岡県糸島市）諸熊亜美さん

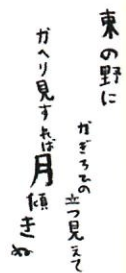
淡墨の墨色が美しい作品です。墨・硯・紙・筆など文房具がよく吟味されていることが分かります。筆を堂々と扱い、にじみと渴筆による余白がはっきりとした無駄のない構成になりました。また文字の意味ともよく合い、貫く意志が伝わってきます。



朝日新聞社賞「東の野に」

大宇陀高校（奈良県宇陀市）寺田啓太さん

この和歌はチャレンジする人が多い恒例の題材です。その中であって、名前も小さく恐る恐る書いているようにも思える作品ですが、一字一字を丹念に書き、自然な変化をしながら収まっています。計算されることなく美しい余白ができました。

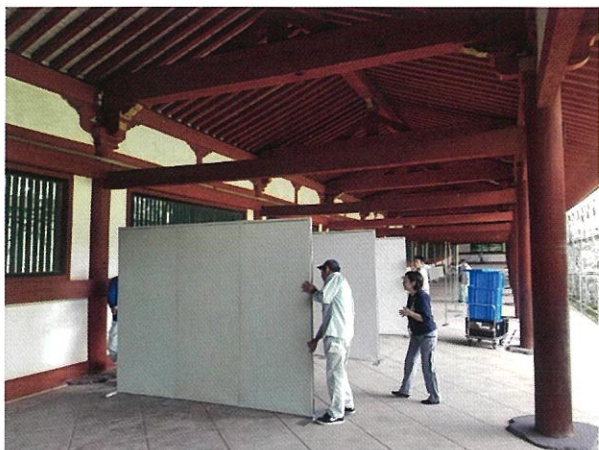


奈良21世紀フォーラム理事長賞「日々」

新津南高校（新潟県新潟市）齋藤圭市さん

これまでの7回の応募のなかでも類例のない、個性的な作品です。禅語「日々是好日」を思わせる「日々」を、道具を工夫し、あえて積極的に円で表現し、その筆の動きを楽しんでいくかのようです。書くことの醍醐味と可能性を感じさせてくれます。





前日準備（パネル設置）



前日準備（作品展示作業）



当日は書道関係の学生もたくさん訪れ、賑わいを見せました



2日目の席書会



席書会の前に実施した表彰式



華嚴唯心偈（百字心経）を写経する学生



読経しながら大仏さまへ奉納